

Business b-ridge

企業間・部門間の業務連携プラットフォーム
をノーコードでスピーディーに実現

アジェンダ

No	内容
1	再掲：SCMにおけるありがちな課題
2	Excelバケツリレーの課題
3	Excelのバケツリレーを解決するには
4	Business b-ridgeとは？
5	次回セミナーご案内

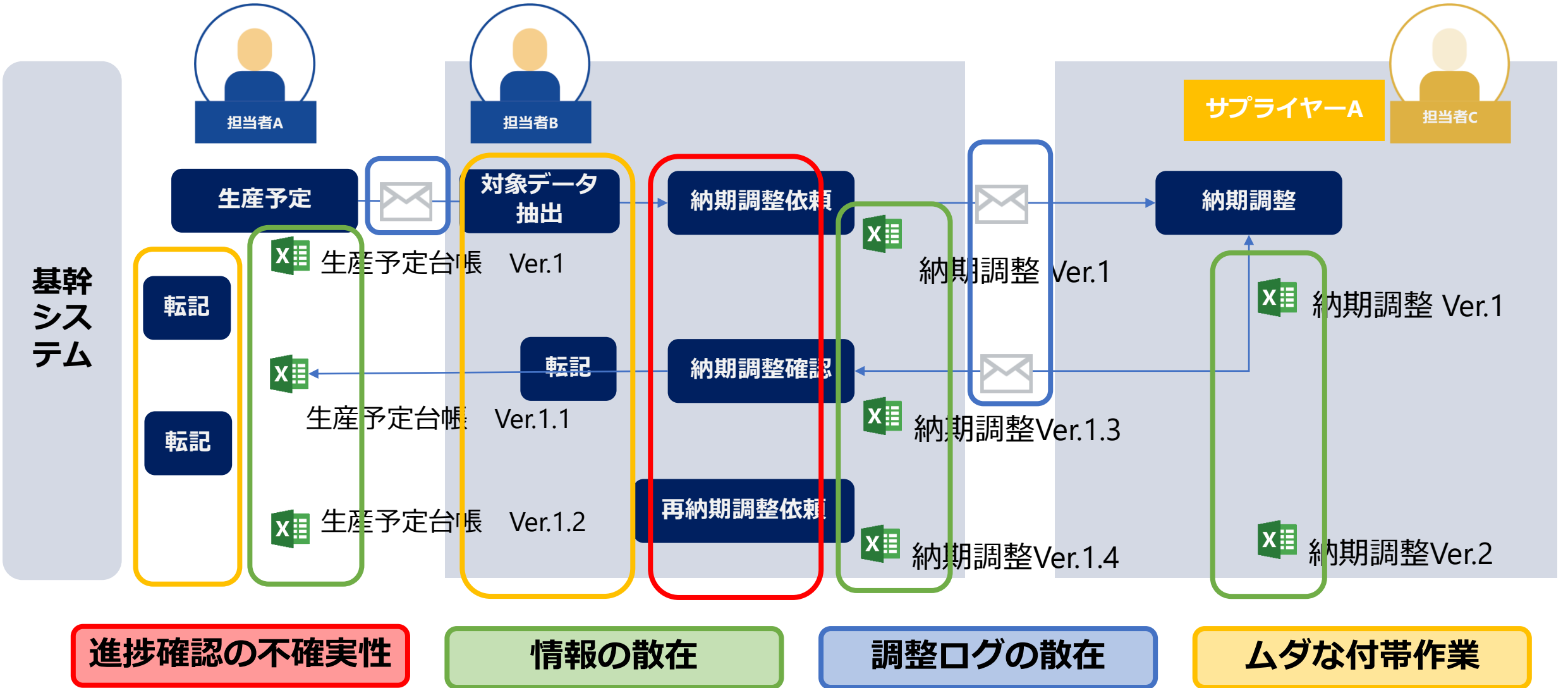
西本さん講演部からの定義課題：再掲

対象領域	担当部門	典型的な課題
SCM基盤構築編(同期化・可視化)		
① 需要管理(需要予測・計画)(Demand Management)	営業・マーケティング	需要予測精度が低い、ブレが大きい
② 需給計画 (Supply Chain Planning)	SCM(需給管理)	可視化の不備、計画リードタイムが長い
③ 生産日程計画 (Production Planning)	工場(生産管理)	マニュアル対応、属人化
④ 物流計画(倉庫計画・配送計画)(WMS・TMS)	物流	煩雑、情報共有の不備
⑤ 調達計画(MRP)	購買	サプライヤ評価、納期管理の不備
⑥ S&P (Sales & Operation Planning)	全部門	十分に活用されない
⑦ 得意先との情報共有 (Customer Collaboration)	営業	適用が進まない
⑧ サプライヤーとの情報共有 (Supplier Collaboration)	購買	適用が進まない
SCM発展編		
⑨ CRM連携(需要予測の精度向上)	営業・マーケティング	需給計画に反映されない
⑩ PLM連携(新製品対応の最適化)	設計・開発	製品リリース情報が連動されない
SCM高度化編		
⑪ AIを活用した需要予測(需要予測の高度化)	営業・マーケティング	AIを使っても予測精度が上がらない
⑫ 生産動態管理とSCM連携(スマートファクトリ)	工場(生産)	生産実績の需給計画への反映が遅い
⑬ What If分析(収益の最大化、意思決定迅速化)	マネジメント	十分に活用されない

SCMにおける業務連携課題

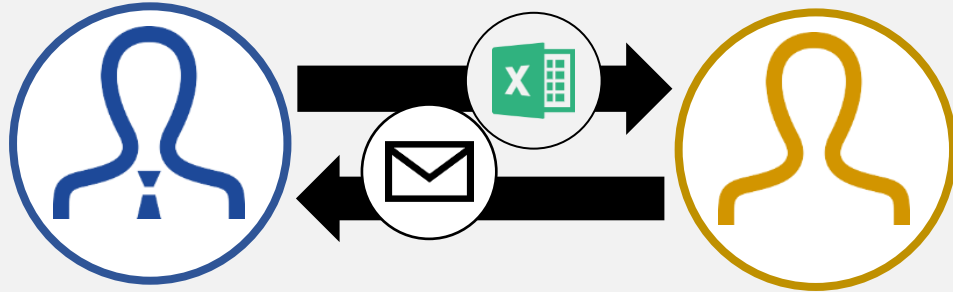
SCMの業務連携で課題となる Excelバケツリレー

リードタイムの長大化&変化への対応遅れ



業務連携不備による**生産性の低下**が課題となる。

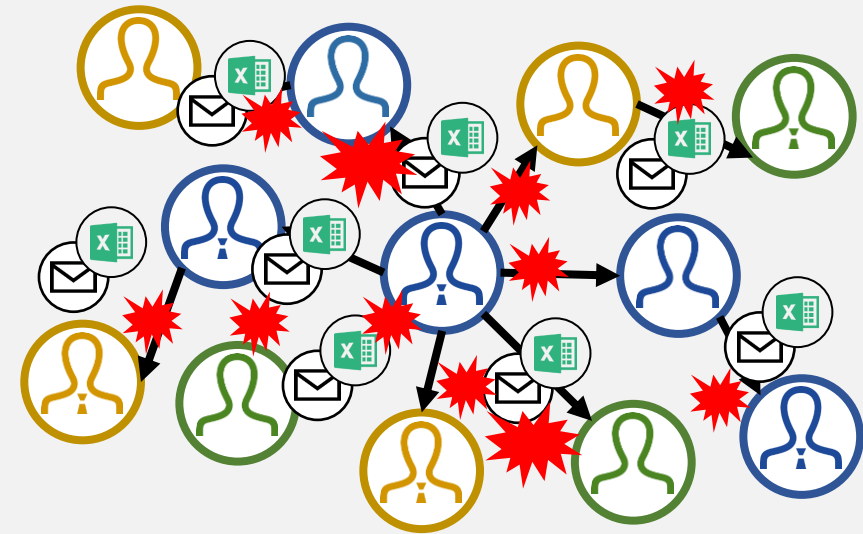
業務連携が少ない



安定時代

個別のすり合わせによる改善の維持

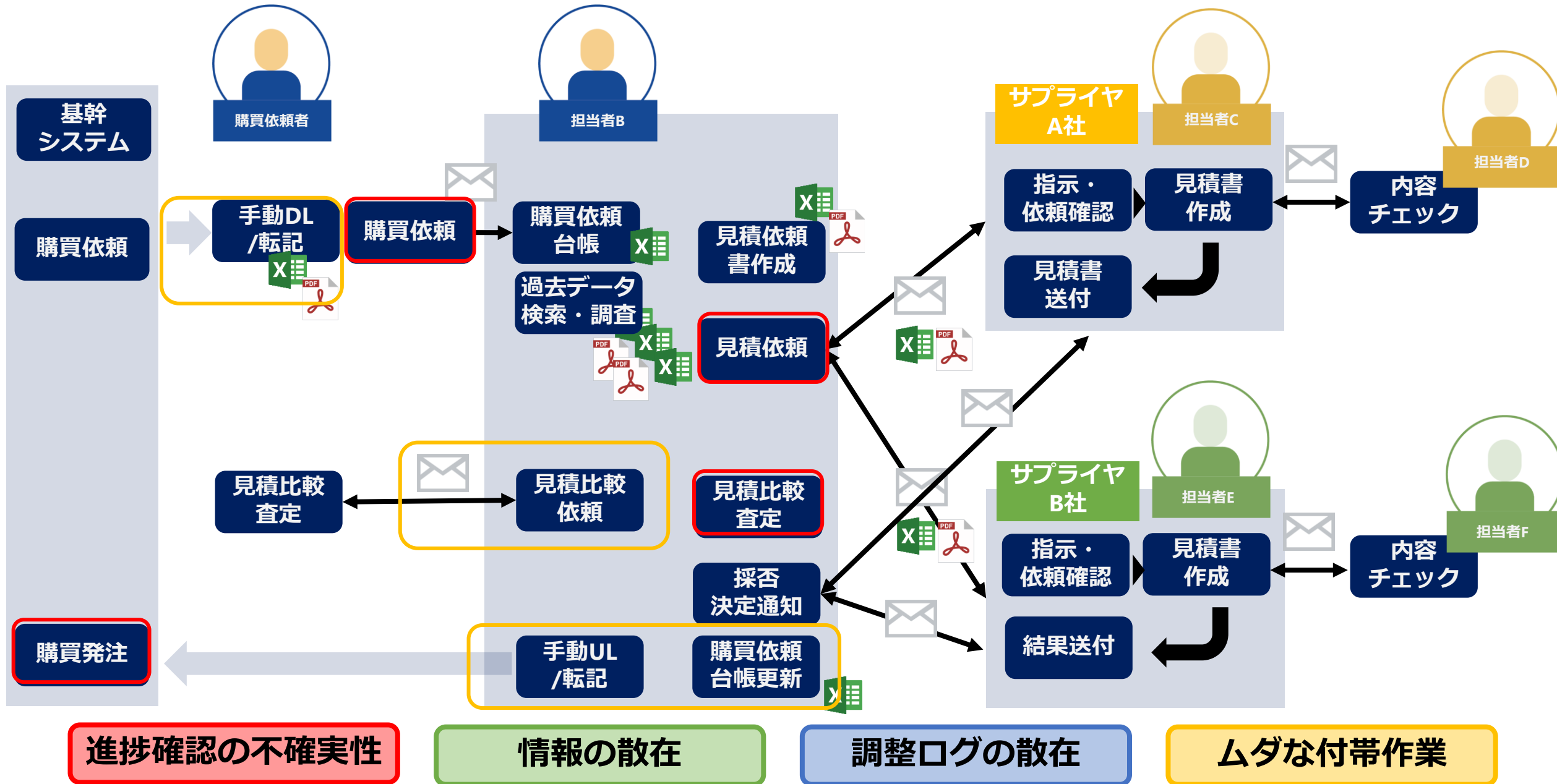
業務連携が多い



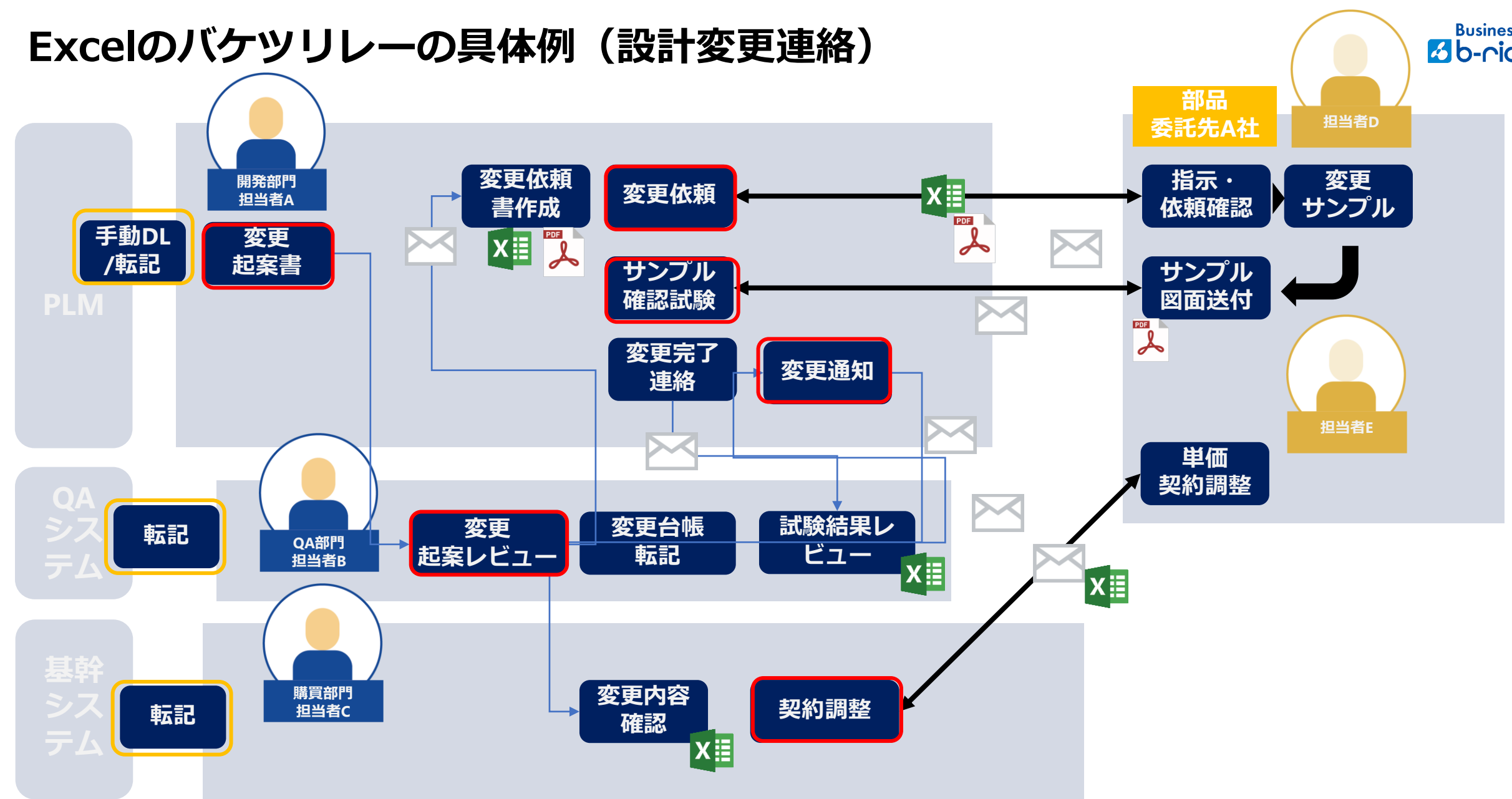
不確実性の時代

個人の努力≠すり合わせでは追いつかない

Excelのバケツリレーの具体例（見積調整）



Excelのバケツリレーの具体例（設計変更連絡）



進捗確認の不確実性

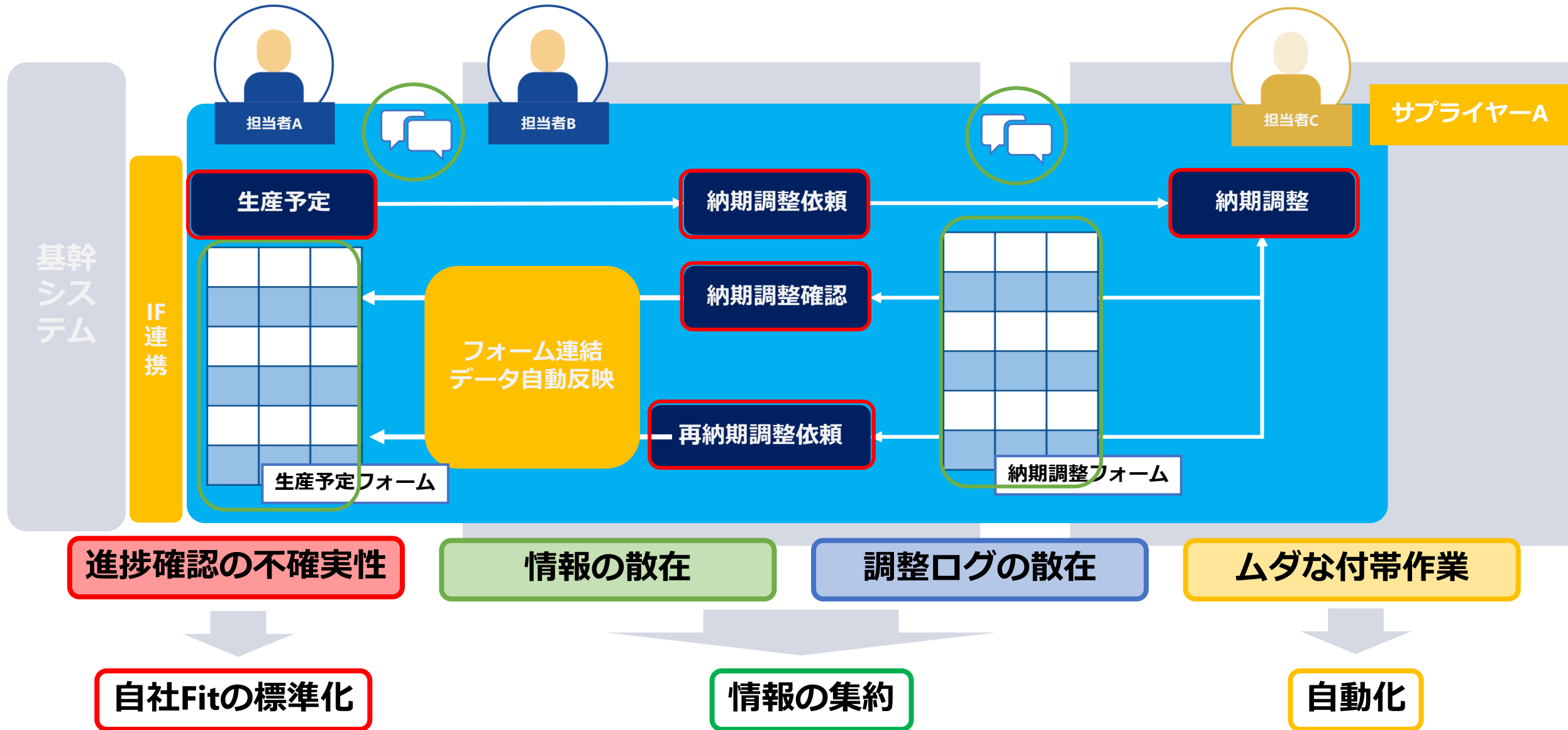
情報の散在

調整ログの散在

ムダな付帯作業

Excelバケツリレーを
解決するには？

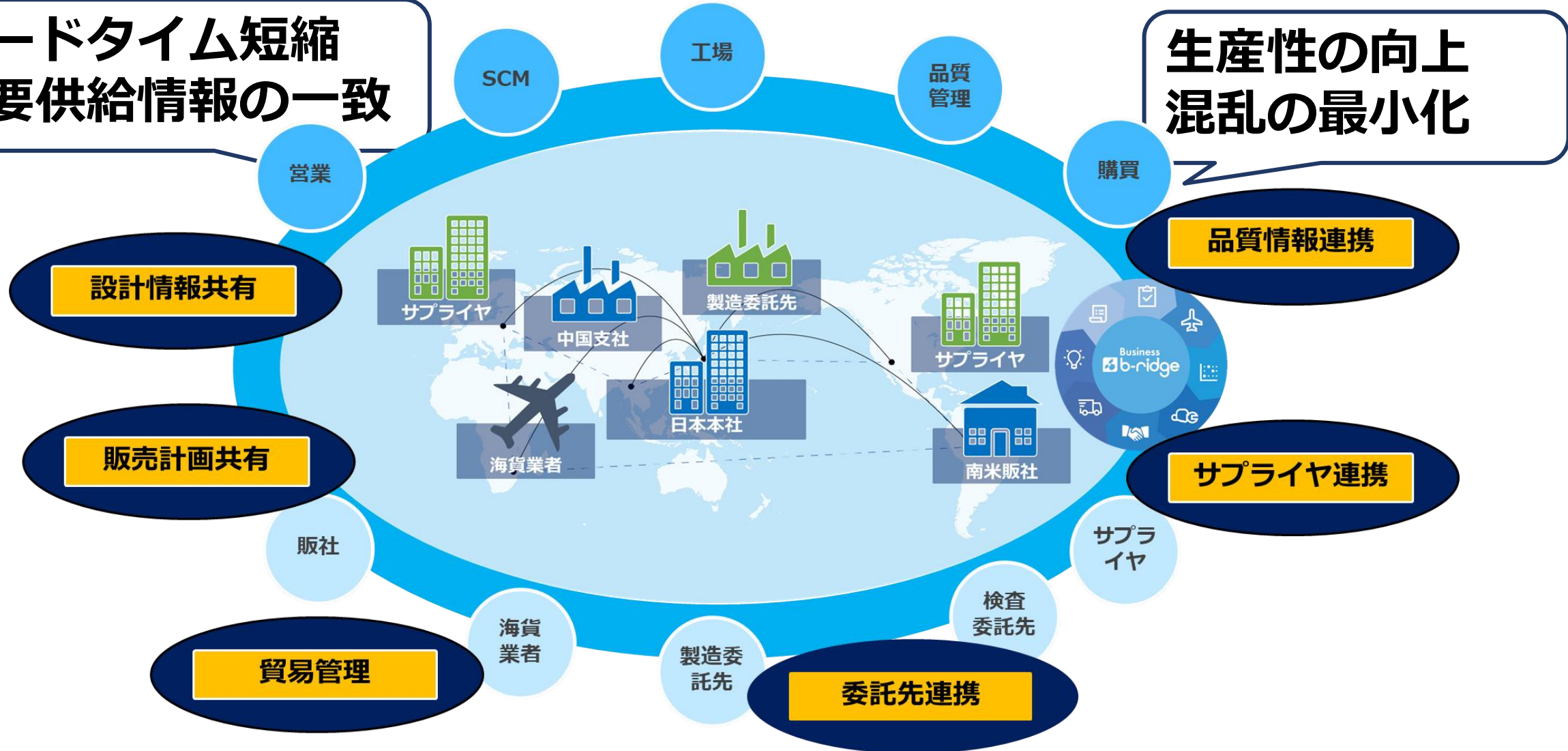
課題解決の方向：業務連携プラットフォームの構築（1/2）



課題解決の方向：業務連携プラットフォームの構築（2/2）

リードタイム短縮
需要供給情報の一致

生産性の向上
混乱の最小化



アウトバウンドSCMの仕組化を進める！

業務連携プラットフォーム構築に必要な要件

分類	システムにもとめられること
自社Fitの標準化	自社 プロセスに呼応した 標準プロセス を定義できること
自動化	複数の 管理プロセスを 連携 できること オーダー納期に対する進捗・ステータス管理、遅延時のアラート
情報の集約	オーダーに 紐付く 、 調整情報 （納期調整・要望コメント）の共通管理 オーダーに 紐付く 、 ファイル情報 （申請・作業依頼・変更レター）の共通管理
セキュリティ	データに対するアクセスをアクター権限に応じて制御 例) 同一レコードで自社と取引先で見える項目を制御 同じフォームで取引先が他取引先レコードへのアクセスを制御 委託先・委託元間情報連携時に誤送信（例.異なる委託先への送付）がないこと
多言語管理	取引先や海外販社連携時に、現地メンバー用言語が利用できること
自動化	SCPのような計画系システム、ERP等基幹システム、PLM等設計系システムとの連携ができること

スモールスタート

アプリ構築をスピーディにできること

改善の継続

段階的なアプリ追加・変更をスピーディにできること

Business b-ridge 紹介

継続利用率99%以上

倫理指針への柔軟な対応を実現する
倫理・ボランティアシステムを構築



第一三共株式会社
アステラス製薬株式会社

開発プロセスのスピード化
と監査・査察対応の効率化



コニカミノルタ株式会社
(ヘルスケア事業本部)

貿易帳票の作成・管理業務の一元化



中外製薬株式会社
(海外営業推進部)

輸入管理支援システム



オリンパス株式会社

Business b-ridgeで配送進捗を管理



日本メジフィジックス株式会社

予約/回答業務効率化と
顧客サービスレベル向上



ANAセールス株式会社

輸出業務の見える化
とデータの一元管理



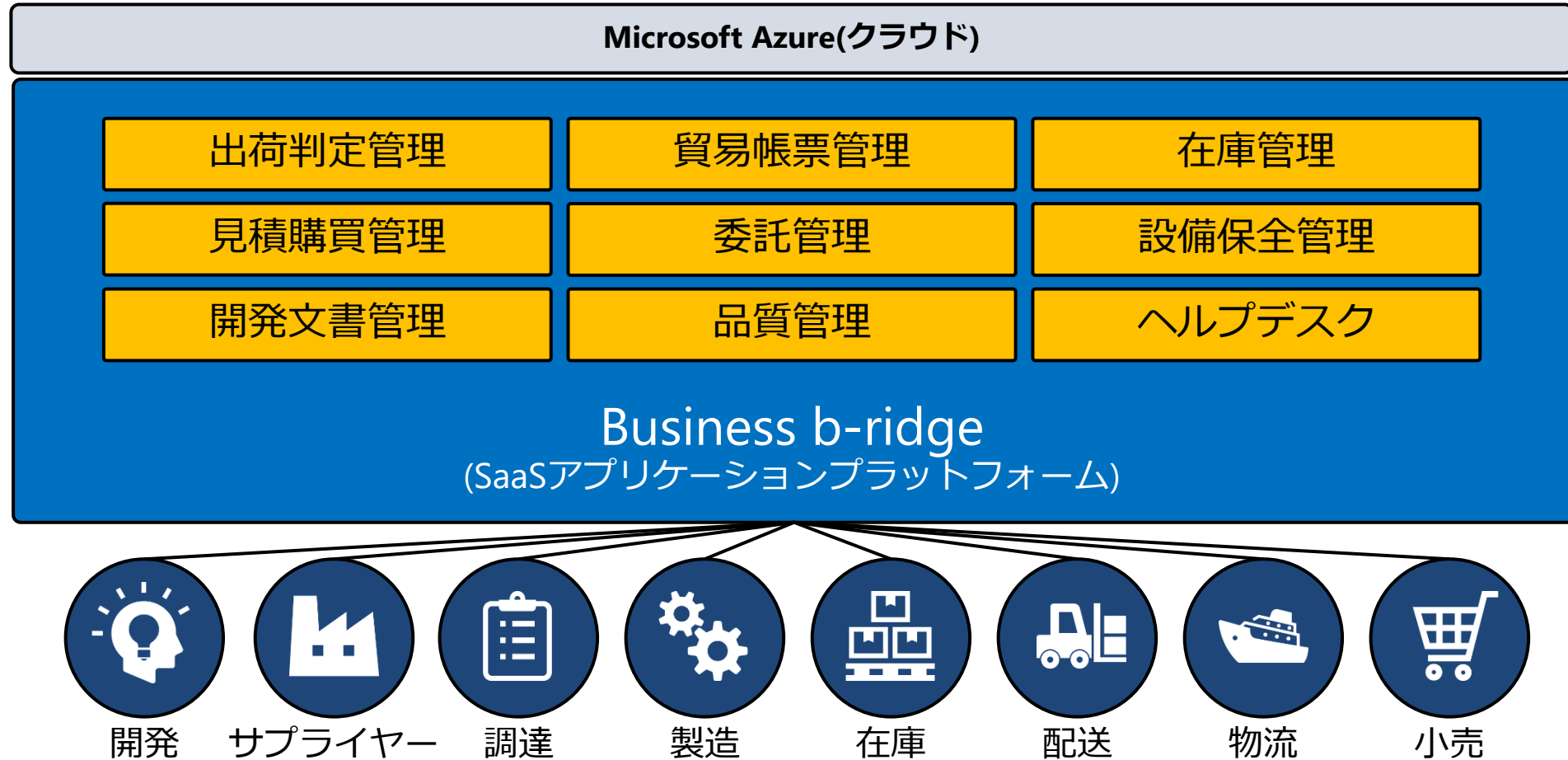
ATTO株式会社

製品苦情管理業務



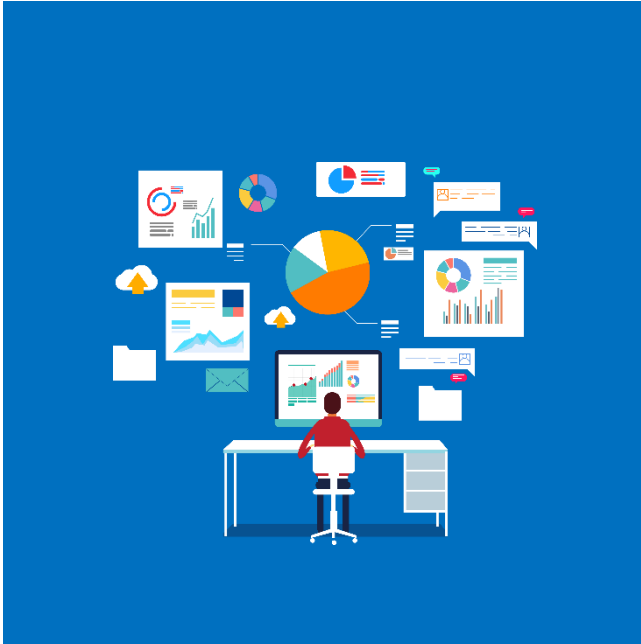
エイワイファーマ株式会社

Business b-ridgeとは？



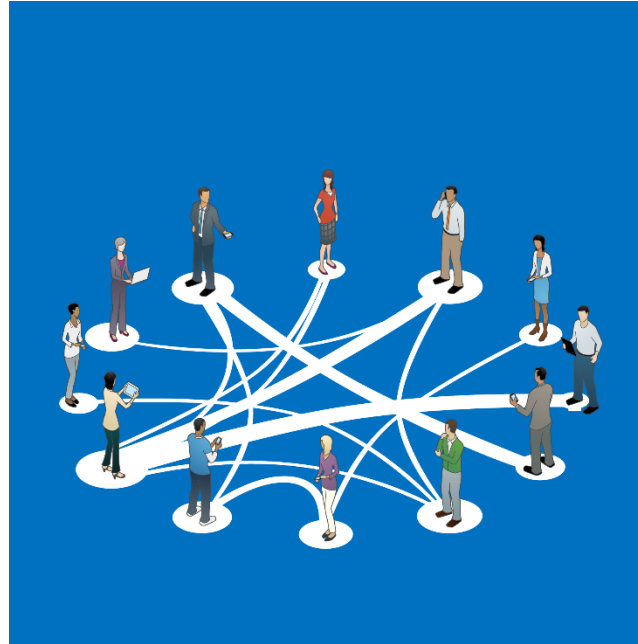
Business b-ridgeはサプライチェーンの業務連携が「だれも、簡単に、スピーディに」システム化できるSaaSアプリケーションプラットフォームです。多様で複雑なサプライチェーンの業務を連携させながら変更や改善にも柔軟に対応し、業務効率化・リードタイムの短縮を実現します。

Business b-ridgeの主な特徴



画面操作だけの スピーディなシステム構築

画面操作だけで業務に合ったシステムが構築でき、運用後の業務変更にも柔軟に対応します。そのため、独自性が高く、変更や改善の多い業務でもシステム化による時間と費用を抑えることができます。



複雑な業務にも 対応するプロセス制御

多様な役割のユーザがやり取りする複雑なサプライチェーンの業務も、細かなプロセス・権限制御により連携させることができます。また、基幹システムなど外部システムとも連携することができます。



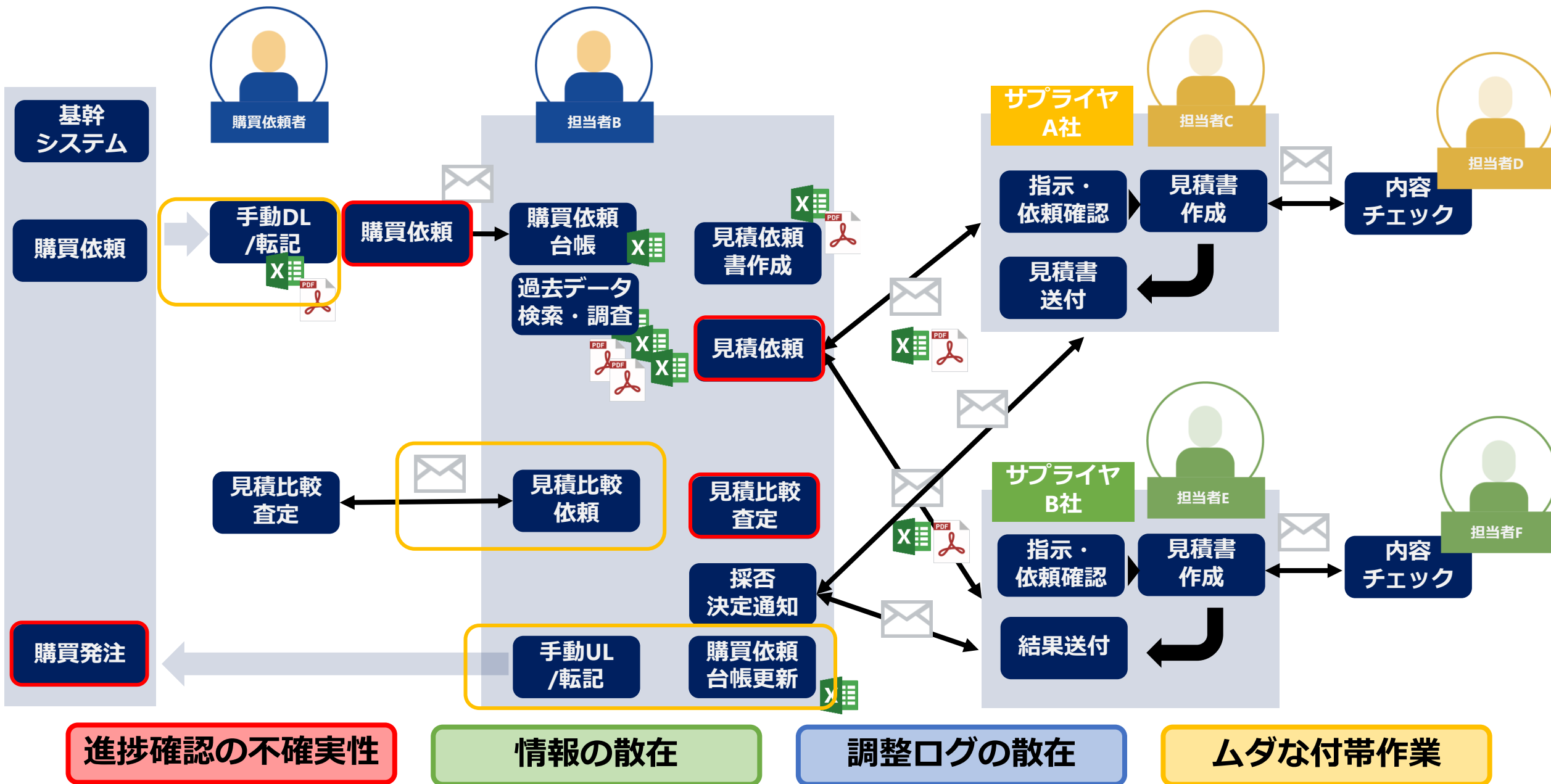
コンプライアンスやリスク に対応するログ機能

コンプライアンスやリスク対応に向けたログ機能を備えています。社内外の多くのユーザが情報をやり取りする中で、証跡として出力されるログを確認することができます。

Business b-ridgeによる改善例のご紹介

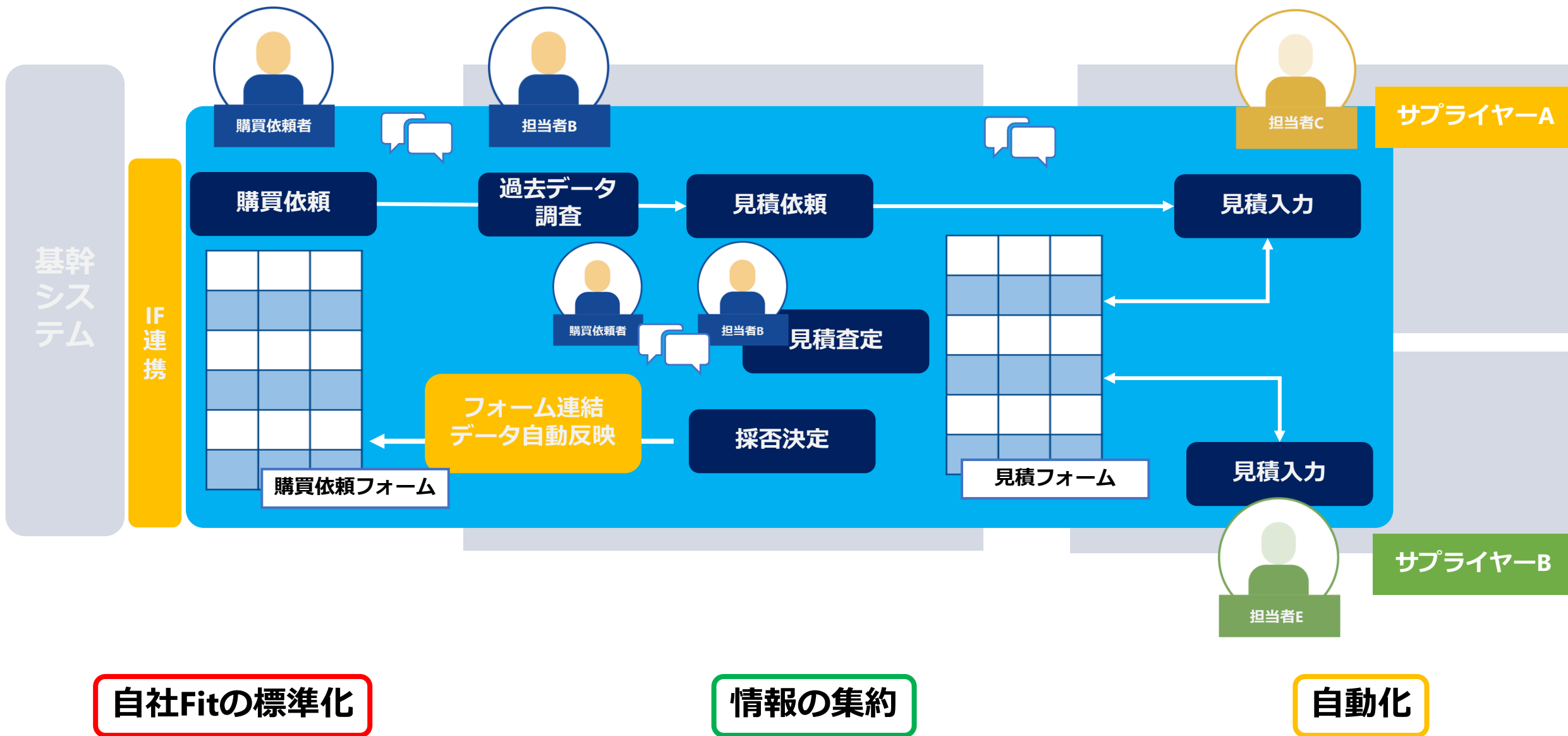
「サプライヤ業務連携：見積（ソーシング）編」

Business b-ridge導入前



DEMO : 見積 (ソーシング) アプリ利用編

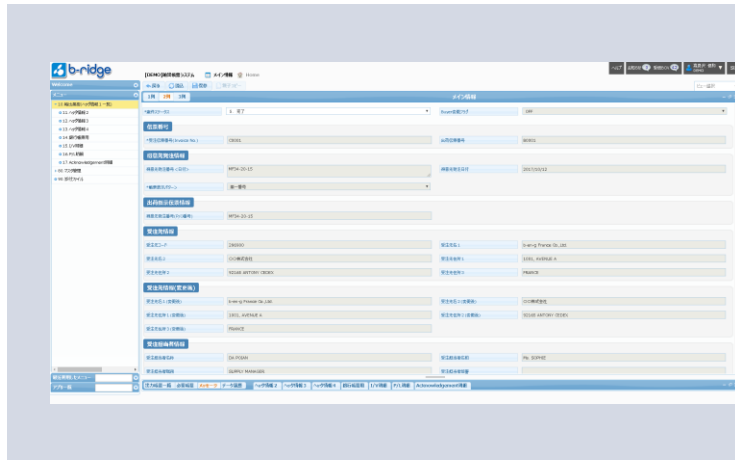
Business b-ridge後



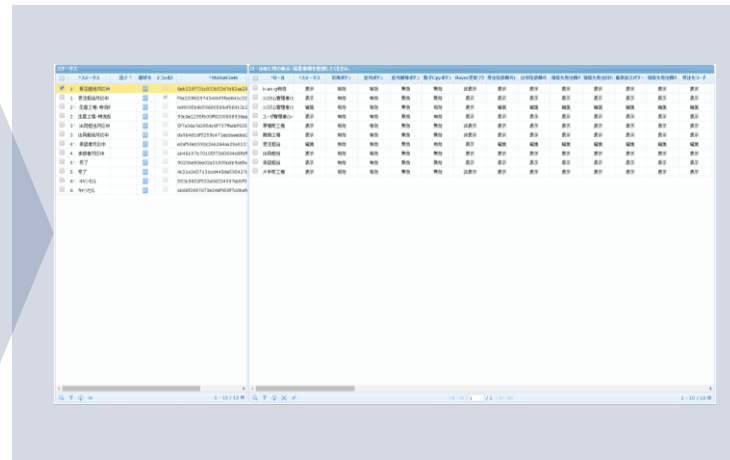
DEMO : 見積 (ソーシング) アプリ構築編

アプリケーションのスピーディな構築

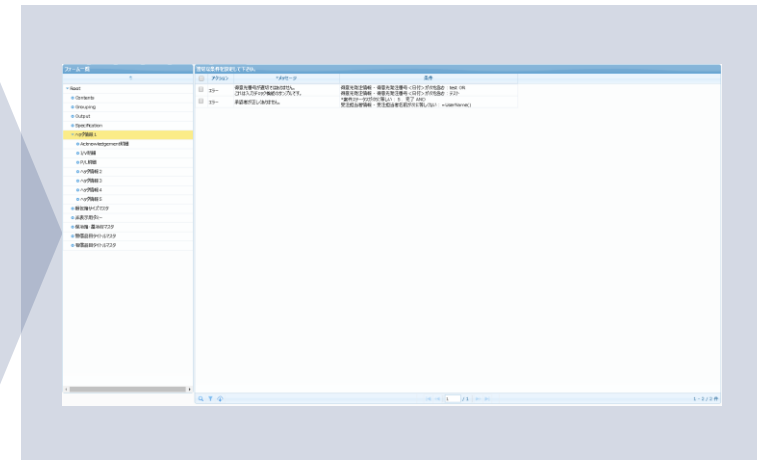
- ▶ 画面操作により、簡易にスピーディにアプリケーションを構築
- ▶ 業務利用から得た知見・課題をすぐにシステムへ反映できる



1 入力画面の作成



2 業務プロセスの設定

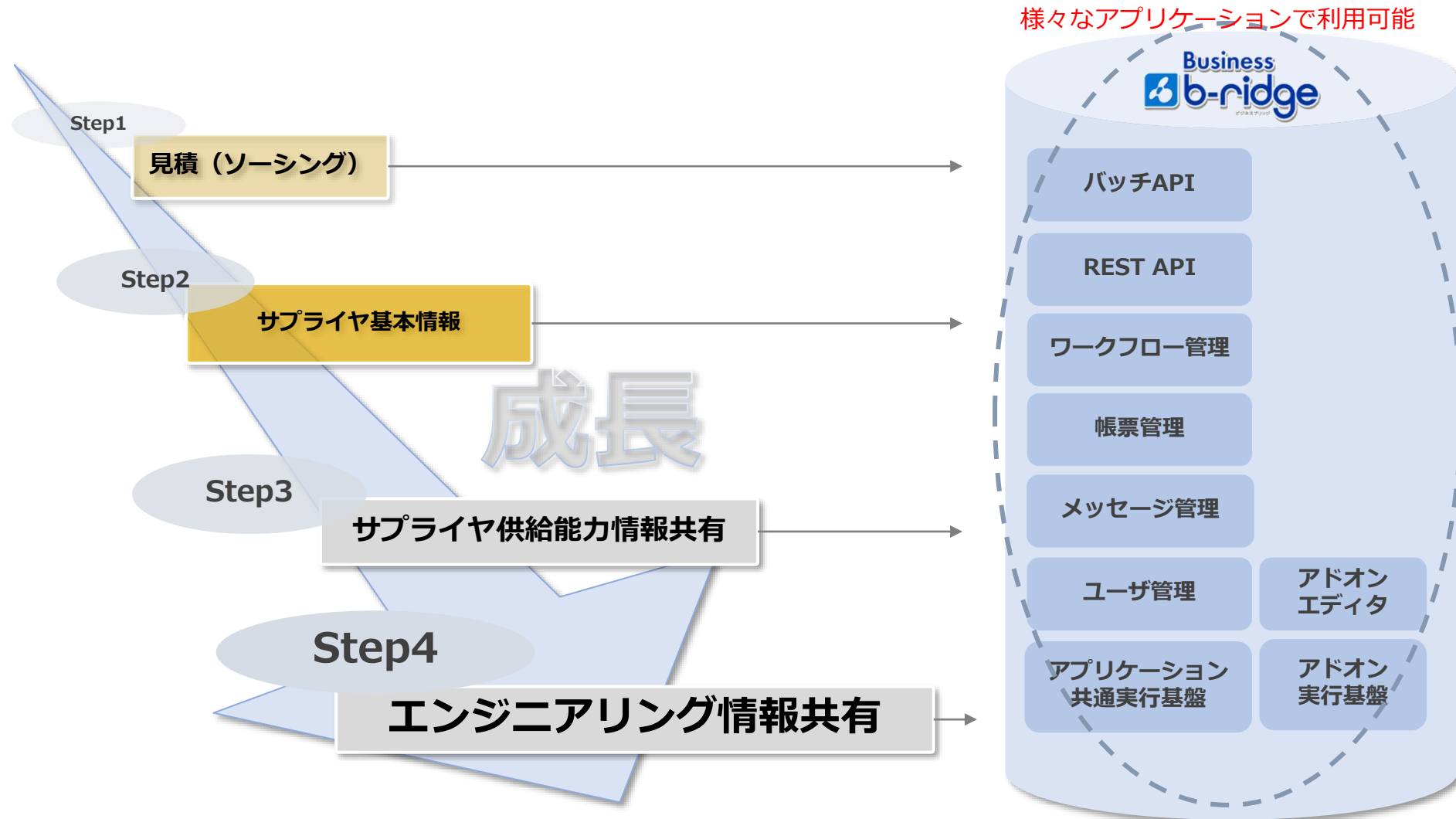


3 ビジネスロジックの設定

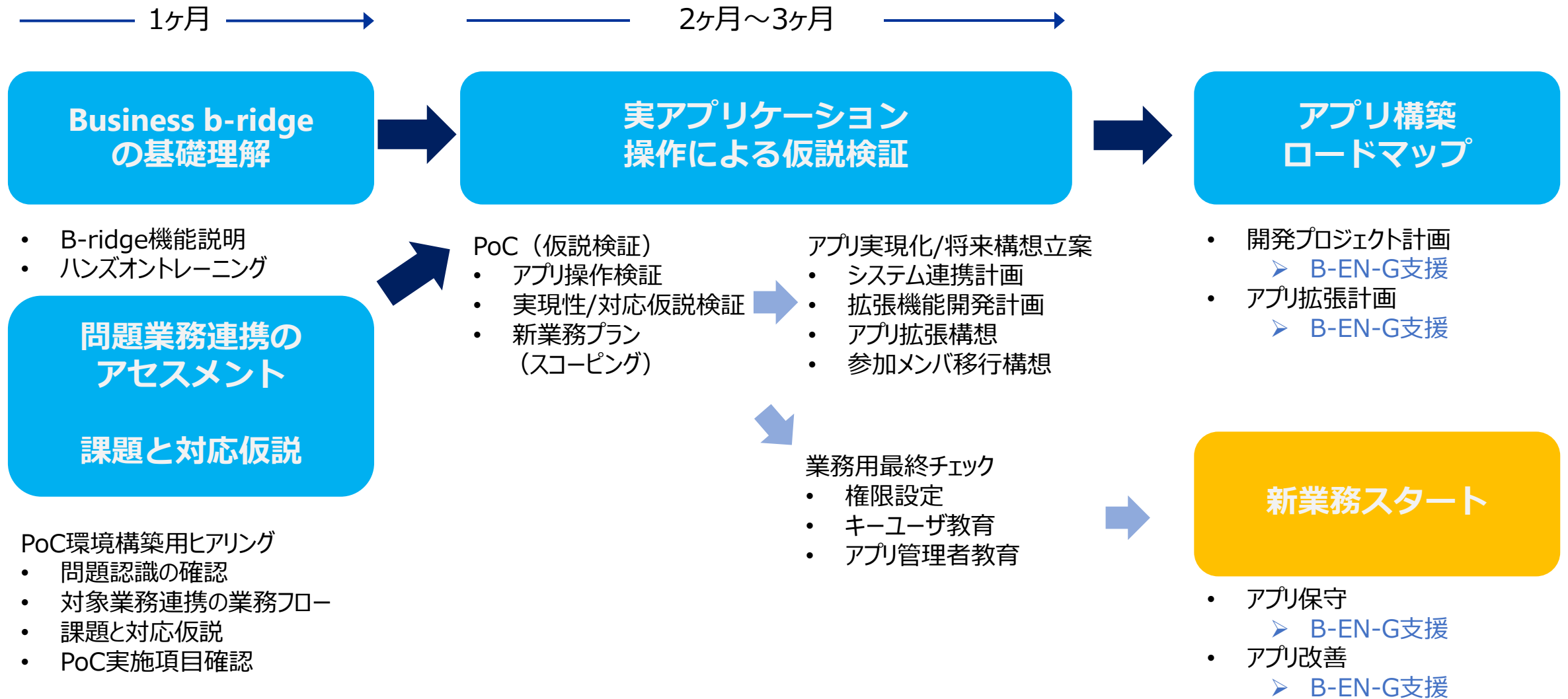
◆ブラウザ操作だけのノンプログラミングで業務アプリケーションを構築することができます。

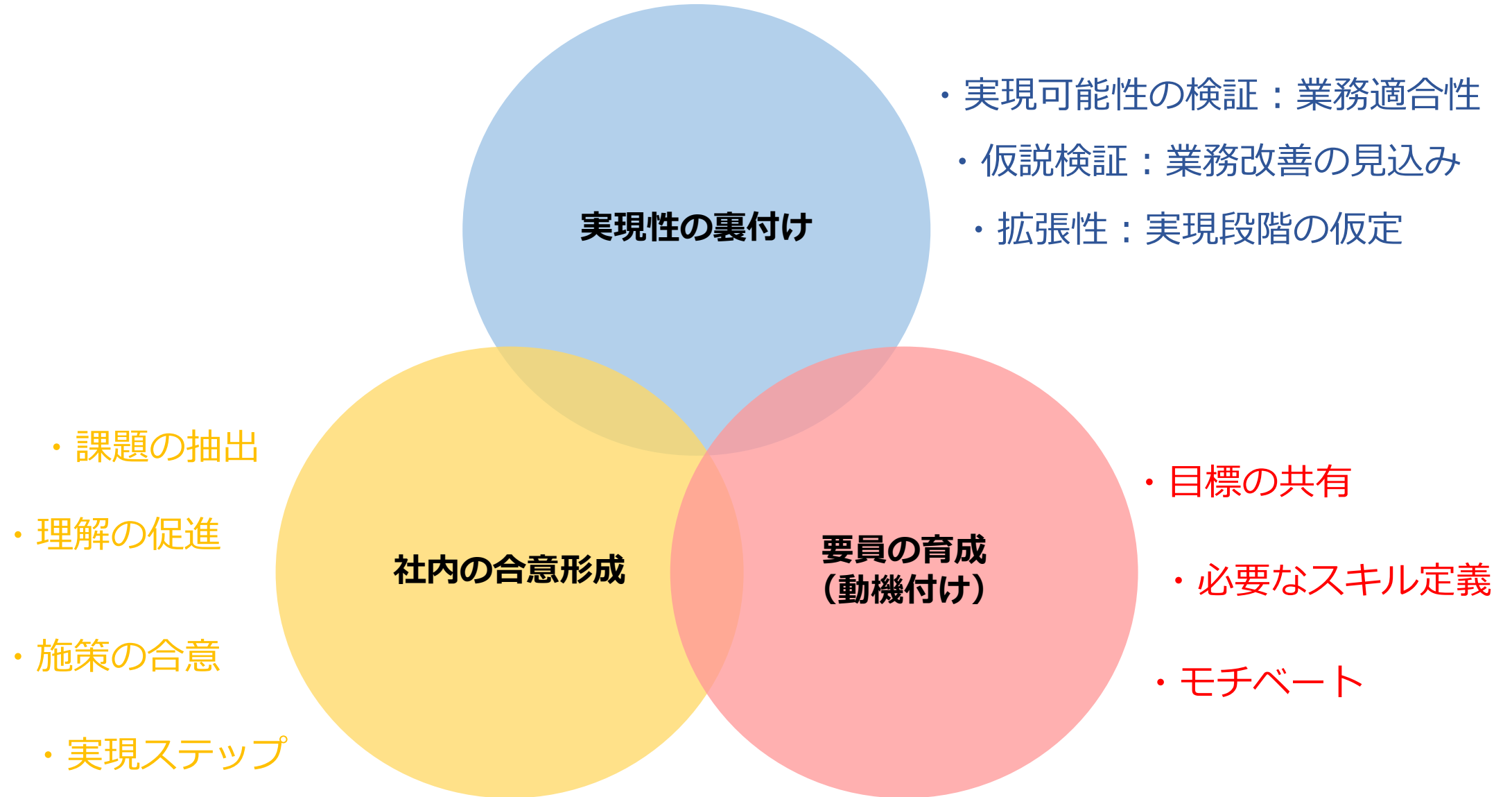
段階的なシステム構築

b-ridgeの管理基盤や実行基盤、APIを利用することで、アプリケーションを最初は小さく構築し、徐々に育ててゆくことが可能です。一度学んだ構築技法とノウハウが無駄になることはありません。



Business b-ridge サポート (1/2)





共同PoCのご案内

SCM改革プロジェクトを低リスクで成功させるためのポイントは？

■ SCP計画系パッケージの導入に向けて、SCPを事前に知ることが非常に重要である

→ HMCによる

- ・ データ分析による課題の明確化と適用範囲の検討
- ・ 実データを用いたプロトタイプによる仮説検証

■ SCP構想実現に向けた、必要なデータの定義と関連システムとの連携方法を確認できる

→ ビジネスエンジニアリングのBusiness b-ridgeによる

- ・ 「SCP上必要だがシステムで管理されていないデータ」の連携確認
- ・ 業務連携アプリ利用のスモールスタート計画
- ・ SCPへのデータ反映の同期化・リードタイム短縮の検証



共同PoCの実施がSCMを成功へ導く重要なポイント！

共同PoC 3～5か月

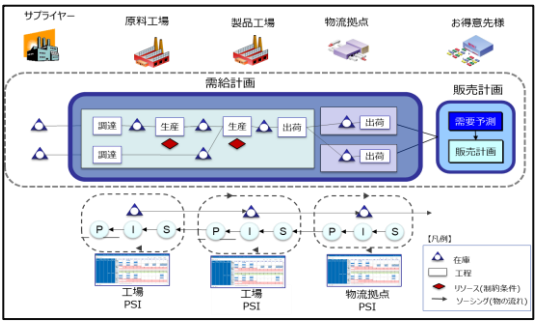


HJVC

検証テーマの定義

検証/検討テーマ	検証/検討内容	成果物
1 3階層PSI計画の効果検証	実データによる活用方法の検証	・ 3 階層PSI計画による期待効果
2 月バケットと週バケットの整合性	実データによる月/週バケットの整合性の検証	・ 月次/週次業務の定義
3 必要データの明確化	必要データの定義とデータの有無の確認	・ 必要データ定義 ・ データ関連の検討課題
4 制約条件の定義	制約条件の扱いの検討	・ 制約条件の定義
5 関連部門間のコンセンサス形成	関連部門間のコンセンサス形成導入に関わる課題の洗い出し	・ コンセンサス形成 ・ 導入に関わる検討課題

PoCモデル・データの定義



SCM構想の裏付け

実践のフィードバック



問題業務連携の
アセスメント
課題と対応仮説

Business b-ridge
の基礎理解

モデル検証

実アプリケーション
操作による仮説検証

アプリ構築
ロードマップ

新業務
スタート



ビジネスエンジニアリング株式会社
b-ridgeサービス部 部長
岡 正弘



株式会社 HMC
代表取締役
西本 広之

徹底解説で必見！

2021 新SCMを考える

不確実性の高まる時代における
デジタル業務改革の取り組み

【開催日】

2021年4月7日(水) 14:00～15:30

【内 容】

改革のための第一歩 失敗しないグローバルワンナンバー基盤構築実現の道標

HMCコンサルティングより、

- ・グループ会社・外部企業ワンナンバー実現による効果、取組が進められない問題例
 - ・自社の優先課題を明確化させるためのプロジェクトスコーピングの進め方
- をご紹介します。

Business b-ridgeを用いたサプライヤ・販社との情報連携アプリ利用例と構築の進め方をご紹介します。

申込URLはこちら：<https://event.to-be.co.jp/20210407.html>

Business b-ridgeによる業務改善がより深く知りたい方向けのオンラインセミナー



すぐに始められる

「ノーコード」の 業務改善メソッド

02.19 オンライン開催
(金)14:00~15:00

開催日

2021年2月19日(金) 14:00~15:00

内容

ノーコードがなぜ今、注目されるのか？
ノーコードによる業務改善の流れ
Business b-ridge紹介
ノーコードで業務改善（業務設計）
ノーコードで業務改善（業務実装）

申込URLはこちら：<https://event.to-be.co.jp/20210219>

ご視聴ありがとうございました